

大肝囊腫切除例. 第60回日本臨床外科学会総会, 1998, 11, 広島. (ビデオクリニック)

- 9) 龍村俊樹, 川上恭右, 坂本 隆, 榊原年宏, 竹森 繁, 新井英樹, 塚田一博: 鈍的腹部外傷例の検討. 第26回日本救急医学会総会, 1998, 11, 高松.

◆ その他

- 1) 龍村俊樹: 胸部外傷. 富山県下救急隊員研修会, 1998, 10, 富山.

輸 血 部

部 長 (併任)	渡 辺 明 治
副 部 長	樋 口 清 博
主任臨床検査技師	西 野 主 眞
臨床検査技師	道 野 淳 子
臨床検査技師	多葉田 祥 代
婦 長	江 口 富 子

◆ 原 著

- 1) Atarashi Y., Yasumura S., Nambu S., Yoshio Y., Murakami J., Takahara T., Higuchi K., Watanabe A., Miyata K., and Kato M.: A novel human tumor necrosis factor alpha Mutein, F4614, inhibits in vitro and in vivo growth of murine and human hepatoma. Implication for immunotherapy of human hepatocellular carcinoma. *Hepatology* 28 : 57-67, 1998.
- 2) Miyamoto M., Shimizu Y., Okada K., Kashii Y., Higuchi K., and Watanabe A.: Effect of interleukin-8 on production of tumor-associated substances and autocrine growth of human liver and pancreatic cancer cells. *Cancer Immunol Immunother* 47 : 47-57, 1998.
- 3) 河相 覚, 真野鋭志, 桑原芳弘, 樋口清博, 渡辺明治: 呼気病態生化学からみた栄養評価—糖質代謝と腸内細菌叢の変化. *栄養—評価と治療* 15 : 417-422, 1998.

◆ 症例報告

- 1) Watanabe A., Wakabayashi H., Yasumura S., Shimizu Y., Higuchi K., Nishioka M.: Autoimmune hepatitis types II and IV in young men. *J Med* 28 : 347-362, 1997. (1997年度追加)

◆ 総 説

- 1) 樋口清博, 渡辺明治: 劇症肝炎. 「臨床医のための肝生検診断」, *Modern Physician* 18 : 999-1002, 1998.

◆ 学会報告

- 1) Watanabe A., Okita H., Higuchi K.: Diagnosis of subclinical hepatic encephalopathy by a scoring system based on clinical and neuropsychological tests, The 11th World Congress of Gastroenterology, 1998, 9, Vienna, Austria.

- 2) 樋口清博, 安村 敏, 愛場信康, 岡田和彦, 清水幸裕, 南部修二, 高原照美, 渡辺明治: 肝硬変に対する十全大補湯の治療効果—特に発癌予防について—. 第95回日本内科学会総会, 1998, 4, 福岡.
- 3) 樋口清博, 渡辺明治: C型肝硬変の予後に及ぼす合併糖尿病の影響. 第34回日本肝臓学会総会, ワークショップ「C型肝炎の経過予後と修飾因子」1998, 4, 横浜.
- 4) 南部修二, 菓子井良郎, 岡田和彦, 樋口清博, 渡辺明治: 肝細胞癌の再発マーカーとしての血中AFP mRNA, PIVKA II測定の有用性. 第34回日本肝臓学会総会, 1998, 4, 横浜.
- 5) 安村 敏, 樋口清博, 渡辺明治, 大矢和彦: Recombinant Cytochrome P450 IID6を用いたELISA法によるLKM 1抗体の検出とその臨床意義について. 第34回日本肝臓学会総会, 1998, 4, 横浜.
- 6) 河相 覚, 真野鋭志, 桑原芳弘, 沖田英明, 樋口清博, 渡辺明治: 肝性脳症の治療における難消化性オリゴ糖ラフィノースと腸溶性ビフィズス菌の意義—呼気中H₂排泄量と血中アンモニア濃度への影響—. 第34回日本肝臓学会総会, 1998, 4, 横浜.
- 7) 桑原芳弘, 沖田英明, 河相 覚, 樋口清博, 渡辺明治: 呼気中アンモニア測定法の開発とその臨床的意義. 第34回日本肝臓学会総会, 1998, 4, 横浜.
- 8) 渡辺明治, 河相 覚, 真野鋭志, 樋口清博: 呼吸病態生化学からみた栄養評価—糖質代謝と腸内細菌叢の変化—. 第21回栄養アセスメント研究会, 1998, 5, 大阪.
- 9) 西野主真: 輸血管理コンピュータシステム. 第46回日本輸血学会総会(サテライトシンポジウム), 1998, 5, 京都.
- 10) 道野淳子, 多葉田祥代, 西野主真, 樋口清博, 渡辺明治: T&Sにおける検査の自動化の試み. 第46回日本輸血学会総会, 1998, 5, 京都.
- 11) 畑 伸秀, 滝澤久夫, 西野主真, 道野淳子, 多葉田祥代, 樋口清博, 渡辺明治: ABO式血液型遺伝子の転写調節におけるミニサテライトの役割. 第46回日本輸血学会総会, 1998, 5, 京都.
- 12) 清水幸裕, 樋口清博, 渡辺明治: 各種肝疾患の肝組織におけるB7-1 (CD80) とB7-2 (CD86) 分子の発現様式について. 第35回日本消化器免疫学会総会, シンポジウム「消化器疾患とcostimulatory分子」, 1998, 7, 高松.
- 13) 國谷 等, 高原照美, 安村 敏, 岡田和彦, 南部修二, 斎藤清二, 渡辺明治, 樋口清博, 相川秀彦, 霜田光義, 塚田一博, 岩城光造: 短絡路閉鎖術を行った静脈管開存による肝性脳症の1例: 術前評価と治療効果の検討. 第176回日本内科学会北陸地方会, 1998, 9, 富山.
- 14) 樋口清博, 渡辺明治: 自己免疫性肝炎の予後と肝発癌に及ぼすC型肝炎ウイルス持続肝炎の影響. 第2回日本肝臓学会大会, パネルディスカッション「わが国における自己免疫性肝炎の予後」, 1998, 10, 金沢.
- 15) 樋口清博, 渡辺好美, 江口富子, 多葉田祥代, 道野淳子, 西野主真, 渡辺明治: 輸血の副作用報告に関する信頼性について—輸血学会北陸支部での調査に関連して—. 第16回日本輸血学会北陸支部総会, ワークショップ「輸血副作用の徹底調査とその結果」, 1998, 10, 福井.
- 16) 西野主真, 道野淳子, 多葉田祥代, 樋口清博, 渡辺明治: カラム凝集 (CAT) 法を用いた直接クームス試験の検討. 第16回日本輸血学会北陸支部総会, 1998, 10, 福井.
- 17) 西川 潤, 峯村正実, 若林泰文, 寺崎禎一, 楨本慎也, 安村 敏, 岡田和彦, 樋口清博, 青山圭一, 斎藤清二, 渡辺明治: リンパ球除去療 (LCAP) が有効と考えられた重症型潰瘍性大腸炎の一例. 第87回日本消化器病学会北陸支部例会, 1998, 11, 金沢.
- 18) 宮寄孝子, 日置 将, 康山俊学, 西森 弘, 國谷 等, 愛場信康, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 医療汚染事故により発症し, インターフェロンが奏効したC型急性肝炎の2例. 第87回日本消化器病学会北陸支部例会, 1998, 11, 金沢.